

西三河柔道協会主催月次試験のご案内

受付時間

○初段・男子弐段戦 8:30～9:00（西三河地区では男子参段以上、女子弐段以上は8月に同時開催します。）

○二級・一級戦 8:30～9:30

○学科・形試験 10:30～10:50（試合次第で変動あり）

○形講習会 12:00～12:30（試合次第で変動あり）

*'24年4月より男子参段以上、女子弐段以上の試合実施が変更になりました。

*名古屋地区では、奇数月に男子参段以上、偶数月に女子弐段以上が開催されます。

*東三河地区では男子、女子ともに9月に開催されます。

*各段位の筆記試験・形試験は、現行通り開催します。

*受付場所は東祥アリーナ安城（安城体育館）では、初段有段戦、形講習が4階柔道場、二級・一級戦、学科・形試験は3階剣道場入口前になります。

*刈谷市体育館、または他の会場では当日の案内に従ってください。

*学科・形試験は4月～12月までは実施しますが、1月～3月は実施しません。

○気象警報発令時の対応

***月次当日の午前6時の時点で開催市において暴風・暴風雪警報または特別警報が発令されている場合は、月次試験、形講習、学科・形試験などすべての予定は中止となります。** 荒天候時には天気予報のご確認をお願いいたします。

持参するもの

○指導者の受験資格推薦書（所定様式）【初めて月次試験（二級戦）を受験する時には、年齢に関わらず、受験者が事故を起す事無く試験を受験するに十分な技術・体力・知識を有することを証明する指導者の受験資格推薦書（所定様式）が必要となります。所定様式の用紙は、各所属の責任者（顧問・部長・指導者・監督者等）より入手して下さい。手元に所定様式の受験資格推薦書フォーマットが無い場合には、西三河柔道協会ホームページの昇段案内の申請書類の欄にある受験資格「仮」推薦書をダウンロードしてご利用下さい。】

○受験料【実技料（試合）1500円 初・弐段学科600円 参・四段学科1000円 五段学科2000円
初・弐段形600円 参・四段形1000円 五段形2000円 形講習会500円】

○国際柔道連盟試合審判規定に則った柔道着と帯、Tシャツ（女子の場合）

○成績カード【初めての受験者は会場受付にて配布します。】

○今年度の全日本柔道連盟登録証

○顔写真付きの身分証明書【生徒手帳、運転免許証、マイナンバーカード等】

○貴重品袋【仕様は委任です。】

○筆記具【初めての受験生は成績カードに氏名等を記入するのでボールペンを持参してください。

筆記試験受験者は鉛筆（シャーペン不可）、消しゴムを持参してください。】

○靴等用ビニール袋【靴等は、靴箱に入れないで名前や所属の記載された袋に入れて会場まで持参下さい。特に東祥アリーナ安城（安城体育館）では、3階剣道場から4階柔道場へ移動する際は靴等が必要なので必ず持参してください。】

審判規定および申し合わせ事項等（‘22 年 5 月～）

○審判規定 国際柔道連盟試合審判規程

○試合時間 正味 3 分

○試合点数 勝ち…1 点 引き分け…0.5 点 負け…二級～初段戦は 0.25 点、有段戦は 0 点

○注意事項

① 中学生に対して「関節技」を禁止とする。

また、中学生が相手に対して「関節技」を施すことも禁止とする。（待て）

② 中学生に対して「絞技」を禁止とする。

また、中学生が相手に対して「絞技」を施すことも禁止とする。（待て）

③ 中学生に対して「通称：三角固」を禁止とする。

また、中学生が相手に対して「三角固」を施すことも禁止とする。（待て）

④ 中学生に対して「通称：逆背負投」を禁止とする。

また、中学生が相手に対して「通称：逆背負投」を施すことも禁止とする。（反則負け）

⑤ 中学生に対して「両袖をもって施す投技」を禁止とする。

また、中学生が相手に対して「両袖をもって施す投技」を施すことも禁止とする。（反則負け）

○その他試合の取り扱いについて

1. 怪我により試合が続行できなくなった場合

① 該当試合

怪我をした受験者「棄権負け」…二級～初段戦は 0.25 点、有段戦は 0 点 対戦相手「棄権勝ち」…1 点

② その後の試合

怪我をした受験者「不戦負け」…0 点 対戦相手「不戦勝ち」…1 点

2. 危険な技による「反則負け」を受けた場合

① 該当試合

「反則負け」を受けた受験者…二級～初段戦は 0.25 点、有段戦は 0 点 対戦相手「反則勝ち」…1 点

② その後の試合

「反則負け」を受けた受験者「不戦負け」…0 点 対戦相手「不戦勝ち」…1 点

四・五段戦についての注意事項

○西三河地区では 8 月に実施します。（ただし、参加人数が揃わない場合は実施しません。）

○3 人リーグ戦で 2 試合行います。

○月 1 回のみとして同じ月に 2 回以上出場することはできない。

○組み合わせは、年齢などを考慮して協会で行います。

ハンディーキャップ保持者の月次試験受験に関する取り決め（‘11年12月4日）

表記の件、県柔連より下記の見解が示されましたのでお知らせいたします。

- ① 原則として健常者と同様な試験を出来る限り実施する。
- ②ハンディーキャップの程度に応じて、ハンディーキャップ保持者の安全を確保するため、試合方法、試合時間、技の判定基準などを変更して行うことができる。
- ③ハンディーキャップ保持者は受験する1ヶ月前までに受験会場の責任者に受験希望を申し出ること（場合によっては必要な準備をするため）。
- ④ハンディーキャップの程度を判定することが困難な場合は、愛知県柔道連盟医科学委員会に申し出て、医学的な判断を仰ぐことができる。

学科試験について

段位毎に段位に応じた学科試験の受験が必須です。県柔連発行の問題集や西三河柔道協会のホームページに記載されています、学科試験対策資料（無段者用、有段者用）を用いて十分な学習をしてから試験に臨んでください。

形講習について

- ①西三河柔道協会では、形の習得の機会提供として形の講習を主催開催しています。内容は、礼法、所作、各技の受取、理合、受身、間合、リズム、などです。是非ご活用ください。
- ②月次の点数が未了でも形の講習は受講可能です。講習会の予定を確認して計画的に受講して下さい。講習会のみでは形の十分な習得は不可能ですので、各教室・道場の指導者より十分な指導を受けてから形の試験に臨んで下さい。
- ③ 形講習は、二・一級戦受験者も受講可能です

形試験について

- ①初段を受験される方は一級を合格し初段戦に進んでいることが必須です。
- ② 形講習の受講は必須ではありません。
- ③各段位の評定される形は下記の図の通りです。

昇段する段位	初段	貳段	参段	四段	五段
評定される形	投の形（手技・腰技・足技のみ）	投の形	固の形	柔の形	極の形

試験会場について

基本的には、東祥アリーナ安城（安城市体育館）にて実施いたしますが、都合により刈谷市体育館、または他の場所で開催される場合もありますので、西三河柔道協会や愛知県柔道連盟のホームページ等で最新の情報を確認してお越しください。

その他、注意事項について

- ①更衣は更衣室及び各会場で指定された場所で行ってください。ロビー、フロア、階段アリーナ観覧席等での更衣は禁止です。
- ②試験を待っている間は、他の利用者の迷惑にならないよう注意して待機してください。
- ③貴重品は貴重品袋等を使用し、必ず自己管理してください。
- ④柔道ルネッサンスは、ごみの持ち帰りと清掃活動だけでなく、柔道人に求められるモラル全般であることをご理解いただき、ぜひご協力お願いいたします。

指導者の皆様へ

- ①月次試験は中学生から一般まで年齢にかかわらず対戦するため、けが・事故防止の観点から受験者の実力レベルの統一が必要となります。
- ②受験許可及び受験推薦をされる場合は、受験者の年齢のみならず体力や技量等もご考慮ください。
- ③講道館柔道において「形と乱取」は「文法と作文」に例えられ修行の一体をなしています。「乱取」だけに偏らず、「形」を通じて礼法、所作、技の理合いなども習得できるようご指導ください。
- ④愛知県柔道連盟は、正しい柔道の普及発展のために、より安全な月次試験の実施を目指しています。皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。